

Catch the eye 2014年10月

2014/10/1
(水)

予知

10月になってしまった。気温はまだ高めで、動く暑い。夏の間遠ざかっていた歩く習慣、そろそろ元に戻さなければ運動不足がたたる。そう思い、28日の日曜、仕事のあとに北山まで足をのばした。1時間半ほど、ゆっくりと木をみて花をみて、小さい秋もみつけた。やはり京都はいい。

いい風景を求めて、いい汗をかきに山にも行くのだけど、御嶽山の噴火には驚いた。噴火時間を聞いて、犠牲者の多いのがわかった。かつてよく山へ行ったから。徴候はなかったのかとも咄嗟に思った。ないはずはない。感知されたいた。でも、一般に知らされなかったというから、・・・。

一般に知らされてなかったけど、麓の人は何となく予知していたのではないか。地震も続いていたというから、現実に気にかけていた人もいると思う。そのあたりのことを取材してくれると、危険を察知する人間の能力とか、防災減災の方法などを考える機会になると思うのだけど。

2014/10/2
(木)

自分史的発見

まもなく雨がふりそう。室内の気温は29度、湿度は50%。少しむし暑い。雨になり東へ移ると、状況は悪化する御嶽山は。遠くにいてそう思うだけを意識しつつ、ニュースに接す。

人それぞれに動かされるものが違う。違うから世界は多様性をそなえている。そう理解できる。若い頃からすると進歩した。今まさに模索中の若い人を見ると、ドラマのあるセリフを思い出す。

『おまえは未だ、自分が何者かをわかっていない』。そう、若い頃は自分ではあまりわかっていない。たまに目の利く大人がいて、教えてくれる。でも、その時はピンときていない。

そういう人を見てみると、これからその人に待ち受けている様々な出会いを想像して、まあ、みていなさい、とほくそ笑む。最大の出会いは、自分。自分史的発見が自分史に新しい章を加える。



2014/10/8
(水)

サイン

台風18号が去った昨日今日は申し分ない秋晴れ。十三夜の月もしっかり拝むことができた。今日は寒露、ソックスなしでは足元がつめたく、グレーや黒色の服もなじんできた、人にも風景にも。

色といえば、昨夜発表のあったノーベル物理学賞、ラジオで一報を聴き、おっ！と声があげた。あの中村氏がとうとう受賞。一般に知られるようになった1996年前後、新聞で読んだコメントに共感したものだ。

ノーベル賞を受賞する人のサインを持つことになったとは、これはお宝になるのかどうか。仕事で徳島へ行った時、偶然見かけたご本人に声をかけて手帳に書いてもらった。とりあえず、これからも大事にとっておこ。



2014/10/10
(金)

103歳

今日はまた少しむし暑い。この調子で6年後の8月に開催されるオリンピックは、選手たちも観戦する方も体に堪えるのではないか。50年前はさぞかし爽やかだったろうに。

体といえば、人間の体の潜在的な能力を思い知るのが103歳の日野原先生。海外出張から戻って講演、しばらくしたらまた海外出張というからすごい。10年後の予定もいれてあるとは、さすが。

頭も体もバランスよく使う。それを基本として、老いるにつれ、体力が落ちる分、精神力を高めることで、体力を引き上げる。そう経験的に語る人が少なくない。実際そうだと思う。

そうとわかっていても、努力の足りないのが凡人。まずは活習慣をあらためることが大事と自分に言い聞かせる今日この頃。



2014/10/17
(金)

務め

グランフロント北庭、モミジの先端が色づいてきた。風がつめたく、スカーフを首にぴったり巻き始めた。今日の日の入りは17:22、日も短くなり、いよいよ秋本番。

秋、先週ふと昔の本の整理をした。事務所を開設してまもない頃の本。ひさしぶりに開いた『心の社会』（マーヴィン・ミンスキー）。仕事で知り合っただけの人に勧められた本。

本に感心したのは言うまでもなく、それ以上に感心したのが、この本を勧めた人の目。会って最初の頃、ひと言ふた言、興味ある分野の話をしたら、すかさず、ある研究者を教えてくださいました。

その人の本を読んで、すごく勉強になったと思った。次に会った時にそう話すと、またすかさず、ミンスキーの「心の社会」を口にした。さっそく買って読みながら、これはバイブルになると感じたものだった。

そう感じるだろうと見通せているような働きかけ。これは意図してそうしているらしい。相手に何かを見てとった時、その人のためになるだろうことを話す、情報を提供する、力になる。

地位や階層、立場に関係なく、世の中にはこういう人が点在している。フィールドの違うところで何人か知っている。こういう人がいるから、世の中まだ守っている。その一人を務めよう。



2014/10/25
(土)

醍醐味

昨日は最高の秋晴れ、今日も少し雲が多いが、晴れた。日が短くなって、土曜に事務所へ出ていると気持ちが急く、暗くなると物騒なようで。霜降もすぎ、一週間後は11月。いよいよ今年もわずか。

本当は夏の間済ませる予定事によやく手がついた。今年も最終コーナーに入ると思うと、騎手に気合をいれられる午のよう。とにかく午年 にあやかり、予定をこなしたい。

そう言い聞かせながら、昨日用事のついでに寄った天王寺公園。年末にかけて夜のイルミネーションが始るようで、園内各所に飾りつけが済んでいた。白と茶の午もご愛嬌。

園内に人は少なく、和気山という古の名がついているほど、気もよく、桜の紅葉が青天の空によいバリエーション。紅葉をみて、青空をみて、遠い先の街の風景をみて、目の前の池をみて、頭をめぐらす。

こうしていると、デスクワークでは出てこない着想がすうーと頭の中に現われる。散策の醍醐味、ここにあり。



2014/10/31
(金)

20歳

今日は朝から曇り空。雨がふりそうで降らずに日は暮れてきた。夜には雨になり、三連休の人には残念な天気になりそう。明日から11月、「外出の予定」を変更しながら、ぎょっとした。やるべきことが重なる時は重なる。刻々とすぎる時間がうらめしい。

こんなに時間を日常的に考えることはなかった20歳の頃は。もっと長いスパンで、かつ、漠然ととらえているだけだった。今からおもえば、若さというものは、本当にいろんな意味で未熟。だから時に傲慢であり、無謀でもある。それもまた若さの特権。

一昨日20歳の男子と話す機会があった。親子以上年上の大人3人にまじって話すぐらいだから、ちょっと自分なりの視点がある。そして、言ったことが、『かっこいい大人になりたい。ただし何かかっこいいかはまだわからないんですけど』。

かっこいい大人。『それは、媚びない大人でしょ。世の中に媚びない、女性に媚びない、などなど』。あっさりそう言ったものだから、ちょっと拍子抜けしたような表情をした。でも、それも言えると感じたらしい。20歳ならまだまだ先は長い。まずは10年後の自分をたのしみに、よい経験を。

